

皆さんこんにちは、VSC学生スタッフ(通称:学スタ)です。我々学生スタッフはサークルではなく、VSC(ボランティア・市民活動支援センター)の一員として学生ボランティアを支援する活動を行っています。この新聞では、皆さんに学生スタッフの活動を知ってもらおうと同時に、ボランティア活動のイメージを持ってもらうことを目的に発信しています。一人でも多くの方に学生スタッフやボランティア活動の魅力を知っていただけたら嬉しいです。また、興味のある活動がありましたら、学スタメンバーと一緒に活動しましょう！活動を知りたい学生はVSCに連絡をください。メンバー一同、お待ちしております。

新入生と繋がった！そしてボランティアに繋がった！～オンラインボラカフェ～

令和2年6月22日(月)から7月3日(金)の2週間、オンラインボラカフェを開催しました。この企画は、主に新入生向けの、本学のボランティア活動を実施しているサークルや学生団体と直接話をしてもらうイベントで、昼休み時間に空き教室を利用して実施していました。



昨年はオンラインで実施し、和太鼓集団「舞」、アカペラ部「K-lingen」、学習塾「HOPE」、災害復興支援団体「わたりば」、車椅子バスケットボール「RAISE」、ベルマーク回収グループ「べるふぁみ」、学生スタッフの計7団体に参加していただきました。学生スタッフは進行やzoomのホスト役を務め、合計で19名の1・2年生が参加しました。「この団体に入りたいと思った」「参加して良かった」との声を頂くことができました。

今回初めてオンライン上でボラカフェを開催し、前回よりも多くの新入生と交流することができました。新入生にとっては、オンラインですぐに繋がれるという参加のしやすさが特に感じられたと思います。しかし直接その場の雰囲気を感じるには少し限界があったようにも思いました。2021年も昨年同様にオンライン上で開催するため、前回よりも多くの学生に興味を持っていただけるよう力を入れていきます。【文責】松本 みう(福3)

離れていても心は一つ。皆さんの温かさを感じました ～赤い羽根共同募金活動～

VSCでは、赤い羽根共同募金運動を令和2年10月12日(月)から11月20日(金)の期間に行いました。例年は募金箱を持って学生スタッフや、学生サポーターと呼ばれるボランティアの皆さんと呼びかけを行っているのですが、コロナ禍の状況により、また、大学も分散登校をしていることもあり、募金箱設置という方法に変更しました。担当した学生スタッフは募金箱が目立つように、ポスターと募金箱・羽根やドラえもんバッジをセットにしたオリジナル募金ボックスを作成しました。大学の協力もあり、各棟にある学部事務局や学内にある丸善ストア、VSCの前にこの募金箱を設置させてもらいました。学生スタッフは一週間ごとに募金の回収、ドラえもんバッジと赤い羽根の補充を行いました。



募金総額 8,760 円 は責任をもって群馬県共同募金会高崎市支会に届けましたので、ご報告させていただきます。募金してくださった皆様、ありがとうございました。

例年とは違った形での赤い羽根募金活動を行ってみて、対面で呼び掛けられないもどかしさを感じました。次年度は例年のように活動できると良いなと思いました。

【文責】金子 菜月(福2)

楽しく歩いて、まちをもっと好きになれた！～全国秋のウォークラリー大会 in 群馬

令和2年11月29日(日)、本学が運営の主幹となり、「秋のウォークラリー大会（主催：群馬県レクリエーション協会）」を開催しました。

「ウォークラリー」とは、1チーム4～5人のグループで、コマ図という地図を利用して、途中設定されたチェックポイントと課題を解決しながら歩くレクリエーションです。今回の大会では、大学周辺をコマ図や課題が書かれた紙を持って、体と頭を使ってゴールを目指しました。当日は、13チーム約60人の家族連れなどが参加してくれました。

課題の中には、大学の農場に関するクイズや周りを観察して答える課題、チームで協力してやり遂げる課題など、簡単なものから難しいものまでさま

まあり、参加者は楽しみながら課題に取り組んでくれました。ゴール後、「楽しかった！」や「やった一満点だ！」といった嬉しそうな声が聞こえてきました。そういった声を聞いたことで私たちスタッフは、参加してくれた方たちが楽しんでくれたのだと実感しました。



【いざ、出発！】



【レクで気分転換～ペア・リング・キャッチ】



【ゴール後、表彰状プレゼント】



【コース途中、本学農園のクイズ出題】

開催するにあたって、こんな時期だからこそ、参加してくれた方々にはこのウォークラリー大会を思いっきり楽しんでもらいたいという想いで臨みました。準備の段階では、決めなければいけないことや用意するものが多くあり、話し合いがなかなか進まないこともありました。また、話し合うたびに改善すべき点が見えて、何度も協議を重ねました。

当日、賞状を渡したときの、参加してくれた方の笑顔。今でも印象に残っています。その笑顔を見て、今回のウォークラリー大会は成功したと思いました。

今回、多くの学生ボランティアにも参加してもらいました。説明から準備、当日までの期間、全員で連携を取りながらウォークラリー大会を開催できて良かったです。参加してくれた方たちの楽しい思い出になっていたらいなと思います。

【文責】 柏木 美咲(栄2)

実行委員と

参加して下さった当日ボラ学生

全員集合！！



◆ボランティア・市民活動支援センター(VSC)学生スタッフ◆ 令和3年1月13日発行

(VSC 事務局)大学9号館1階 電話：027-352-1108 FAX：027-352-1087

E-mail：vsc@takasaki-u.ac.jp